



豊
かな
海
を、
育む
森
から

岩手

大槌
釜石
遠野

OTSUCHI
KAMAISHI
TONO

宮古 MIYAKO
住田 SUMITA

地域の木材を地域で加工し、 持続可能な地域を創る

上閉伊地区木材流通協議会は、地域の木材を地域で加工する流通の体制を確かなものとするために、旧上閉伊郡の釜石市・大槌町・遠野市にある製材所や木材加工施設と釜石地方森林組合がつくった団体です。



つながりの力で 地域の雇用を守る

数十年前までは地域の山林から伐り出した木材が近くの製材所で柱や梁などに加工され、地域の住宅に使われることは当たり前でした。しかし製材所・木材加工施設の大規模化が進んだこと、合板など工業製品としての需要が増えたことにより、木材を遠く離れた工場まで運んで加工することが増え、小規模な製材所の数は減少しています。

私たちはそれぞれは小規模な事業所ですが、加盟社がつながり連携することによって各社の強みを発揮し、大規模工場に引けを取らない質と量をお約束します。

近くで加工し 二酸化炭素排出抑制

水分を多く含む重量のある丸太の運搬には、二酸化炭素の排出を伴います。私たちは、おおむね 50km 圏内の製材所に運ぶことで、二酸化炭素の排出抑制に取り組んでいます。

また、木材として使うことのできない枝や葉は木質バイオマスとして発電所に供給し、製材所から出るおが粉も畜産の現場で利用するなど、長い年月を掛けて成長した木を余すところなく活用するために日々取り組んでいます。

ごあいさつ



上閉伊地区木材流通協議会

会長

久保知久

岩手県の釜石市、遠野市、大槌町からなる上閉伊地区の製材所や木材加工施設、そこに釜石地方森林組合を加えた7団体により上閉伊地区木材流通協議会が誕生したのは2016年のことです。東日本大震災発生から5年経過した当時、釜石大槌地域では復興後のまちの姿が見え始め、同時に、住宅や施設の再建に伴う復興需要の終わりが近づいてきていることを肌で感じていました。

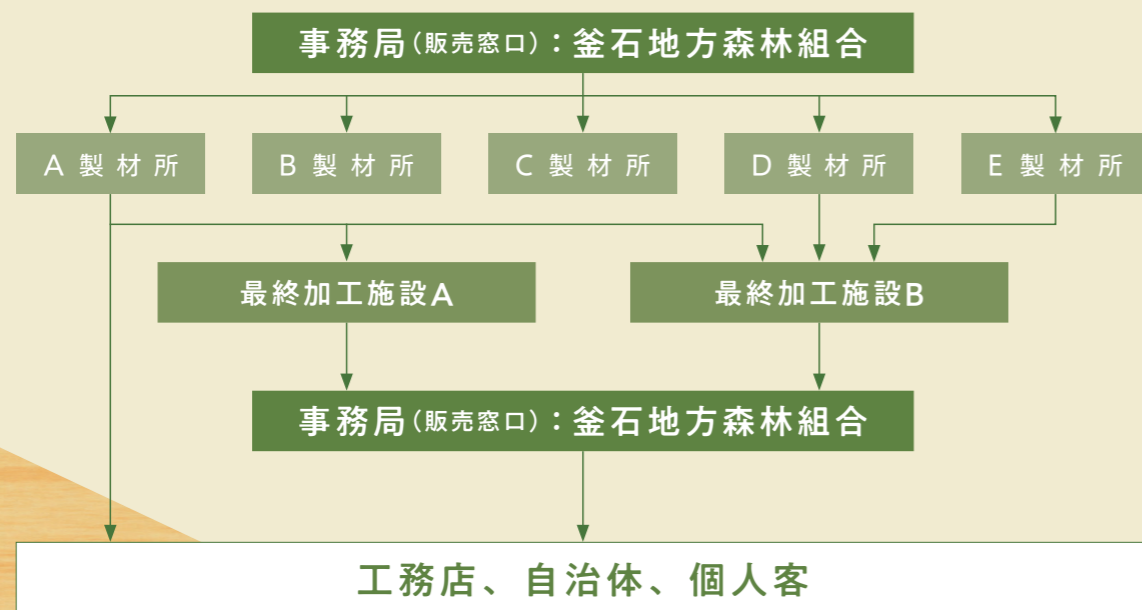
木材の供給を通して被災地の復興に力を尽くしてきた私たちは、これから先はもっと地域の外に目を向け、低コストで良質な製品をユーザーに直接、届ける流通の構築が急務だという危機感を共有し、視察や意見交換を重ね、協議会を設立するに至りました。

「川上」（林業、木材生産業）、「川中」（製材、集成材工場等）、「川下」（建設業、家具製作等）と言い表される木材の流通は、同じ農林業の中でも農産物と比べると複雑でわかりにくいのが実態です。山林から伐り出された丸太が、住宅を建てる工務店や施主、家具を製作する職人やDIY用の資材を求めるユーザーに届くまでの過程に、さまざまな商社や問屋が介在します。そのような構造により、私たちはユーザーの声を聞く機会が少なく、さらには価格や規格、納期などの正確なニーズを把握することが難しくなっていました。

この協議会の最大の特徴は、本来はユーザーからもっとも離れた木材生産者である森林組合が事務局として受発注業務を担い、ユーザーと直接つながることにあります。そのニーズを正確に把握することにより、伐採の時点から製品を具体的にイメージすることができ、木材の特質を生かした製品のコーディネートが可能となりました。また、取り組みを重ねる中で加盟社も12社に増え、連携することで効率的に生産し短時間で大量の注文にも対応できる体制が構築できたという手応えを感じています。

私たちはこの協議会の取り組みを通して、持続可能な山林から伐り出された木材を必要とする全国のユーザーに製品を届けることにより、地域で木材にかかわる産業を持続可能なものとするを目標としています。

上閉伊地区木材流通協議会の役割分担



上閉伊地区木材流通協議会に できること

できること
01

大きな建物から小さな雑貨まで

製材所、集成材工場、木工所など加盟社それぞれの特性を生かし、大型建造物1棟分の柱梁用の木材やフローリングから家具、さらにはキーホルダーやフォトフレームなどオリジナル小物やインテリア雑貨まで幅広く承ります。



できること
02

大ロットから板1枚まで販売

学校や公民館などの施設や住宅などを手掛ける建設会社・工務店への販売はもちろんのこと、ご自宅のDIYに必要な板1枚から個人のお客様にも販売。寸法や価格など、お気軽にご相談ください。



できること
03

「太すぎる」「長すぎる」 規格外の加工もおまかせ

寺社仏閣の梁として価値が高い、太く曲がったアカマツなど規格外の木材の製材にも対応。木材の目利きがそれぞれの木の個性を見極め、ご希望に合わせて製材します。お持ち込みいただいた木材の加工も応相談。



できること
04

個性あふれる岩手県産広葉樹

ナラ、クリ、サクラなど樹種ごとに木目に特徴のある広葉樹。近年は、環境問題への関心の高まりとともに、輸入材に代わり国産の広葉樹の人気が高まっています。協議会では、伐り出した場所の確かな岩手県産材を少量から販売しています。(詳しい樹種の特徴はp6でご紹介しています)



できること
05

森林認証材の オーダーにも対応



大槌町と釜石地方森林組合は持続可能な森林整備のために2021年連携して大槌町有林のFSC森林認証を取得しました。該当する森林から伐り出した木材をCoC認証を受けた加工施設で加工し納品します。

できること
06

岩手県産構造用合板

木造建築に不可欠な構造用合板。建物の完成後、目に触れる機会はありませんが、伐り出した山林に近い工場加工することで、輸送コストを抑え、二酸化炭素の排出にも貢献します。小ロットからのご注文にも対応します。



できること
07

木材販売だけでなく施工も

木材販売だけでなく施工まで手掛けられるのが私たち上閉伊地区木材流通協議会の強みです。無垢材のフローリングなど経験が求められる素材の施工実績も多数。1棟まるごとの施工から一部の木工事のための請負まで、現場に応じて臨機応変に作業します。



地域の特徴と 森林の特徴

太平洋に面した岩手県釜石市と大槌町は、三陸海岸のほぼ中央に位置し、ともに牡蠣やホタテ、ワカメの養殖業や定置網漁などがさかんです。漁場のすぐ背後には広葉樹資源が豊富で急峻な北上山地がそびえ、山から流れ出た河川が落葉した広葉樹の栄養を湾内に運びます。

釜石市と大槌町の面積のうち89%に当たる5万7000haは山林で、このうち国有林を除いた民有林は3万8000haで、その45%は針葉樹をメインとした人工林です。

人工林の資源量で見ると、最も多いスギは54%、ついでアカマツ34%、カラマツ9%——となっています。世界遺産登録された橋野鉄鉱山のある釜石は、製鉄業で栄える以前から薪炭業が活発だったことから、今も広葉樹林が残されています。

また、大槌町は古くから天然アカマツの産地として知られ、熊本城の梁の一部や大阪・岸和田のだんじりの車輪などに採用されています。



上閉伊地区木材流通協議会

取 扱 樹 種

針 葉 樹



スギ
まっすぐに成長しやすく柔らかいのが特徴のスギは加工しやすいことから古来、日本では建造物や醸造用樽など様々な場面で利用されてきました。赤味の強い芯材と白っぽい辺材とでくっきりと色が分かれ、強度や特性が異なります。建物の部材のほか、家具や工芸品、集成材、合板など幅広く利用されています。釜石大槌地域でもっともポピュラーな樹種です。

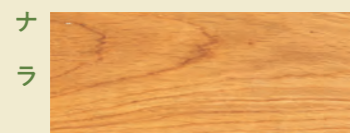


アカマツ
「ナンブアカマツ」が県の本に指定されるなど、岩手ではなじみ深いアカマツ。樹齢数百年の天然のアカマツは強度が高く、お城や寺社仏閣の梁材として重宝されています。アカマツを枯らす松くい虫被害が全国的に蔓延するなか、岩手県は数少ない産地で、釜石大槌地域のアカマツも熊本城の梁などとして全国で使われています。



カラマツ
針葉樹の中では強度が高い反面、節が多く、乾燥させると割れやすく曲がりやすい特徴を持つカラマツですが、近年、乾燥技術の向上により、用途が拡大し、一気に需要が増加しています。建築・土木資材のほか、集成材や合板にも利用されます。針葉樹としては珍しく紅葉し落葉します。北海道、岩手県、長野県が主要な産地です。

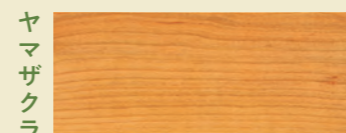
広 葉 樹



ナラ
日本、中国、ロシアなどに自生するナラは、硬く傷がつきにくいことから、フローリングやテーブル・カウンターの天板に適した材です。縦方向のまっすぐな木目に虎の縞模様のような「虎斑」が入ることもあります。釜石大槌地域にはミズナラ、コナラが自生していますが、一般的に材としてはミズナラが好まれます。



ク
リ
水や湿気に強いことから、建造物の基礎や鉄道の枕木として使われてきたクリ。縄文遺跡から直径1mのクリ材の柱が見つかったことから耐久性の高さが分かります。波打ったような伸びやかな木目が特徴的で、その存在感を活かしてテーブルなど家具の制作やフローリングに使われます。重厚な見た目の割に軽く、加工性が高いのも魅力です。



ヤマザクラ
日本人におなじみのサクラ。その中でも木材として利用されることが多いのはヤマザクラです。時間とともに上品に赤みがかった肌合いで人気があります。反りや狂いが少なくほどよい硬さで加工しやすいことから、伝統的な木工品からフローリングまで幅広い分野で使われています。カバザクラ、ミズザクラなども木材として流通しています。

納品実績

上閉伊地区木材流通協議会では、大小さまざまなプロジェクトに木材や製品を納入しています。

製材品の供給

家具や小物の制作

施 工

釜石鵜住居復興スタジアム

2019年のラグビーワールドカップ(RWC)日本開催にあたり、釜石市立鵜住居小学校・釜石東中学校の跡地に建設されたスタジアムは、常設シートやVIPルーム、さらにRWC開催時の仮設シートなどに、釜石市の尾崎半島で発生した林野火災の被災木が活用されました。



釜石市提供



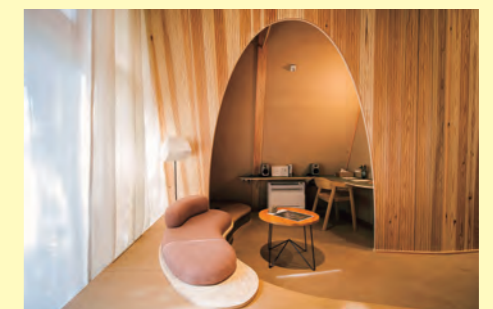
大槌町中央公民館赤浜分館

東日本大震災で大きな被害を受けた大槌町赤浜地区に建設された木造2階建の公共施設です。非常時に避難所として機能する多目的ホールや談話室などを備えています。ほぼ全面に貼られた外壁材や内装材のほか、構造用の集成材など木材がふんだんに使われています。



SANU 2nd HOME キャビン

サブスクリプション（定額制）で日本各地の環境共生型建築 SANU CABIN に滞在できる株式会社 SANU のサービス。自然環境に配慮して建設されるキャビンの構造材や内装材を供給しています。サービスの収益の一部が釜石大槌地域の植林活動に充当されることにより、森林の循環が進みます。





加盟各社紹介

- 株式会社 上田製材所
- 有限会社 碓川製函
- 有限会社 外川製材所
- 有限会社 鈴木製材所
- 協同組合 リッチヒル遠野
- 合資会社 鱒沢製材所
- 協同組合 遠野グルーラム
- 協同組合 ノッチ・アート遠野
- 株式会社 リンデンバウム遠野
- 豊田木材 株式会社
- 有限会社 森谷材木店
- 釜石地方森林組合

若手社長を中心に循環型製材業を实践

株式会社 上田製材所

- 主な取扱樹種 スギ カラマツ アカマツ
- 人工乾燥機 あり なし
- JAS認定 あり なし

会社
情報

代表 上田 康広
〒028-1131 岩手県大槌町大槌 12-9-1
TEL 0193-42-2284 FAX 0193-42-2253
ueda.seizaisyo@leaf.ocn.ne.jp



代表取締役社長
上田 康広

1本の木を無駄なく使い切ることをモットーに、製材で出る端材はおが粉に加工して畜産農家に販売、樹皮は人工乾燥機の燃料にするなど、すべての資源を活用し循環型の製材業を实践しています。

先代社長（上田昭雄会長）の代から積極的に高性能な機械への設備投資を進め、効率化を進めてきた上田製材所。東日本大震災の際には、河川を遡上した津波の被害を受けましたが、大槌町内の内陸部に移転し、地域の復興のため住宅や公共施設への木材供給を担ってきました。

主力商品は長さ4000mm、3650mmのスギの下地材。大槌町は良質なアカマツの産地であることから、注文に応じてアカマツの製材にも対応しています。

3代目の上田康広社長は「時代の変化に対応し新たなマーケットを開拓したい」とさまざまな販路をリサーチ。DIYなど一般ユーザーが安全に使いやすい製品の開発に取り組んでいます。



上田 昭雄 会長



個別注文にも柔軟対応 魚箱から製材まで

有限会社 碓川製函

- 主な取扱樹種 スギ カラマツ アカマツ
- 人工乾燥機 あり なし
- JAS認定 あり なし

会社
情報

代表 碓川 公二
〒028-1101
岩手県大槌町吉里吉里 32-5 大畑
TEL 0193-44-2536 FAX 0193-44-2563
qquf7xx9k@bird.ocn.ne.jp

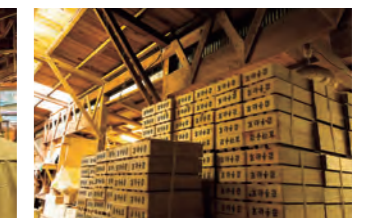


代表取締役
碓川 公二

箱の製造“製函”を冠した社名の通り、さんまやわかめ、いくらなどの海産物や松茸を入れる箱の製造によって長年、地場産業を支えてきた碓川製函。水揚げされたマグロの大きさに合わせた魚箱を製造するなど、建築用材の製材がメインとなった現在も小回りの利く対応で地域から信頼されています。

大槌町や近隣のスギを中心に、間柱など羽柄材を中心に扱い、小ロットの個別注文にもスピーディーに対応できるのが強みです。一方で、2016年に完成した木造一部鉄筋コンクリート造・鉄骨造、2階建の大槌学園小中一貫校など地域の復興のためにフル稼働してきました。

碓川公二社長は「表に出るところだけでなく、目に見えないところにまで気を配る丁寧な作業を日々、心掛けています。人に安らぎを与えてくれる木材の活用に貢献していきたいです」。



構造材・羽柄材・造作材

製材品の主な用途は、住宅などを建てる際に使われる建築用材です。建築用材のうち、柱や梁のように建物を支える構造の一部をなすものを構造材、構造材を補うために柱と柱の間などに通され下地となる木材を羽柄（端柄）材と呼びます。羽柄材には、間柱、胴縁、貫など用途によってさまざまなものがあります。また、天井や床（フローリング）、階段、和室の鴨居、装飾用の腰板などは造作材（化粧材、仕上材）と称されます。

六角形、八角形も自在に加工。9mの丸太にも対応

有限会社 外川製材所

- 主な取扱樹種 スギ カラマツ アカマツ
- 人工乾燥機 あり なし
- JAS認定 あり なし

会社
情報

代表 外川 勝雄
〒026-0055
岩手県釜石市甲子町15-88-4
TEL 0193-23-5378 FAX 0193-23-5379
sotokawa-seizai@alpha.ocn.ne.jp



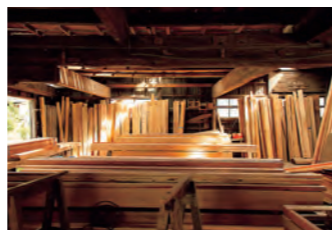
専務
外川 直樹

釜石市内やその周辺の建築・土木現場への納入実績が豊富な外川製材所は、一般的な四角形の製材はもちろんのこと、三角、六角、八角などの角材の加工を得意とし、寺社仏閣の新築や改修の現場にも納入しています。

戦後もなく製材業を始めた際は、山林所有者が伐り出した木材を注文通りの規格に製材する“質挽き”をメインにしていたとあって、現在も注文があれば長さ9m、直径60cmの長く太い丸太まで対応可能です。



繰り返し建築現場に足を運び、各部材の用途や規格を学んできた外川直樹専務は「木材の目利きを目指して、より経験を積んでいきたい」。近年は製材だけでなく、ウッドデッキや家具など木のぬくもりを身近に感じてもらえる商品の開発にも取り組んでいます。



大量のストックで多様なニーズに対応

有限会社 鈴木製材所

- 主な取扱樹種 スギ カラマツ アカマツ
- 人工乾燥機 あり なし
- JAS認定 あり なし

会社
情報

代表 鈴木 光宏
〒028-0532 岩手県遠野市綾織町下綾織 28-40
TEL 0198-62-6715 FAX 0198-62-6716
mitu@tonotv.com



代表取締役
鈴木 光宏

古くからカラマツの製材に定評のある鈴木製材所。現在はスギの羽柄材、集成材用のカラマツの原板などを中心に製造し、県内の工務店やプレカット工場などに納入しています。

広い敷地には数ヶ月かけて含水率20～30%まで乾燥させた板が大量に積み重ねられており、注文に応じて再び製材機に掛け、丁寧にプレーナーで仕上げ出荷しています。三代目の鈴木光宏社長は「いつ注文を頂いても迅速にご希望のサイズに対応できるストックが自社の最大の特徴です」。

復興のシンボルである高田松原津波復興祈念公園内の道の駅高田松原にカラマツを供給するなど大型施設への供給実績も豊富な同社。鈴木社長は「自分たちの製材した木材が目に見える形で使われることはやりがいにつながります」と語ります。



芯材(心材)・辺材

丸太の断面(小口)を見た時に、中心に近く色の濃い部分を芯材(心材)または赤身と呼び、その外側の白っぽい部分を辺材、白太と呼びます。木は樹皮の内側の形成層から細胞分裂し成長するため、辺材は若い部分、芯材は成長が止まり着色物質が発生し色づいた部分と言えます。芯材は水分が少なく腐りにくい、辺材は年輪が細かく節が少ない、などそれぞれに特徴があります

多品種量産にも少量生産もフレキシブルに

協同組合 リッチヒル遠野

- 主な取扱樹種 スギ カラマツ アカマツ
- 人工乾燥機 あり なし
- JAS認定 あり なし

会社
情報

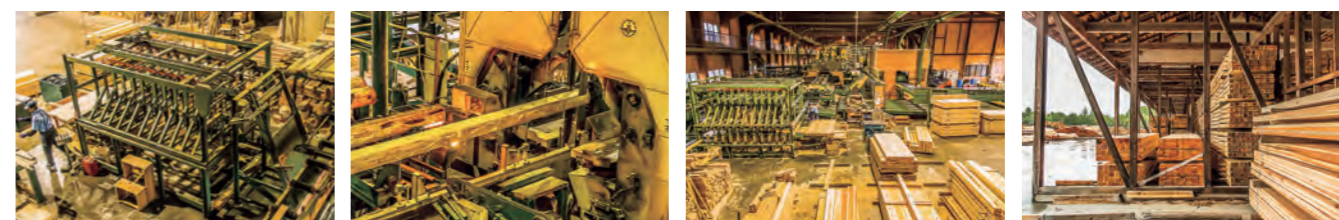
代表 菊池 智
〒028-0502
岩手県遠野市青笹町中沢 5-11
TEL 0198-62-0071 FAX 0198-62-0073
rich_hill-tono@view.ocn.ne.jp



理事長
菊池 智

遠野市内の製材所や木材関連会社によって設立されたリッチヒル遠野は、岩手県内のスギ、カラマツの丸太の皮を剥いて製材し、集成材用のラミナや建築用の羽柄材の原板として、集成材工場やプレカット工場などに出荷しています。また遠野市内を中心に、地場の工務店向けには、天然乾燥させた羽柄材の販売も手掛けます。

菊池智理事長は「多品種の量産にも、少量の注文にもどちらにも柔軟に対応できるのが自社の特徴」と言います。通常扱っているのは長さ4,000mmの板材ですが、注文に応じて3,000mmなど変則的な規格にも対応。また、大径材や長尺材に対応できる製材機もあり、山林所有者から依頼を受け、所有林から伐り出したアカマツを梁用に製材することも。「無垢材、集成材それぞれに良さがあり、特徴がある。それぞれに求められる品質を追求しています」。



スギの持ち味を生かす製品づくりにこだわり

合資会社 鱒沢製材所

- 主な取扱樹種 スギ カラマツ アカマツ
- 人工乾燥機 あり なし
- JAS認定 あり なし

会社
情報

代表 佐々木 勇二
〒028-0502 岩手県遠野市青笹町中沢 5-11
(協)リッチヒル遠野第2工場
TEL 0198-62-0074 FAX 0198-62-0075
masuzawa_sh@outlook.com



代表社員
佐々木 勇二

鱒沢製材所の創業は昭和11(1936)年。現在の経営者である代表社員・佐々木勇二さんの祖父が関東から遠野に移り住み製材業を始めたころから、信用を第一に品質と納期厳守を徹底してきました。佐々木さんは「リピーターになってもらえる製品づくりを心がけています」と語ります。

遠野市内を中心に岩手県内からさまざまな径級(太さ)のスギを調達、皮を剥いた後に破風板、野縁、胴縁などの住宅の羽柄材用に製材しています。また端材から製造するチップは製紙工場に供給しています。製品づくりで大切にしているのは、丸太1本1本の太さや特徴に合わせた製材。スギの芯材・辺材それぞれの持ち味を發揮できる規格に仕上げた製品は、見た目の美しさも兼ね備えています。

「板になっても木は生きていて呼吸しています。特に子どもたちには少しでも木のある空間で過ごしてもらいたい」。佐々木さんの願いです。



プレカット

木造住宅の建設などの際に、木材の接合部分をあらかじめコンピューター制御の機械で加工し現場に搬入するプレカット工法により、現場ではノミやのこぎりを使った作業が不要となるため、短時間で完成します。建築図面をCADで入力し1棟に必要な部材や加工形状をデータ化することにより、精度が高いのも特徴です。

機能性と美しさを兼ね備えた大断面集成材

協同組合 遠野グルーラム

- 主な取扱樹種 スギ カラマツ アカマツ
- 人工乾燥機 あり なし
- JAS 認定 あり なし

会社情報

代表 白岩 久男
〒028-0502
岩手県遠野市青笹町中沢8-1-2
TEL 0198-62-7998 FAX 0198-60-1327
info@tohno-glulam.jp



工場長
新田 智幸

体育館や講堂など大型建造物の柱や梁などに用いる構造用大断面集成材の製造・加工を専門とする遠野グルーラム。短辺15cm以上、断面積300cm²以上、と定義される大断面集成材のメーカーは国内で数少なく、その製品は岩手県紫波町のオガール紫波、同県立釜石祥雲支援学校など大型建造物の木材での施工を可能にしました。

使うのは主に岩手県産のカラマツ。原料となる板を市内の製材所などから買い付けて自社の人工乾燥機に掛け、含水率12%以上のものは再乾燥。1枚1枚の板の強度を測定し、異なる強度の板を組み合わせることでバランスの取れた高い強度の集成材に仕上げます。

多数の人工乾燥機を有しており、上閉伊地区木材流通協議会で大量受注した際には、他の加盟製材所分の乾燥も担います。またFSC、SGEC各森林認証のCOC認証を取得しています。

新田智幸工場長は「集成材の性能はもちろん、カラマツの見た目の美しさが評価されていることがうれしいです」。



書棚から小物まで 暮らしの中に木を気軽に

協同組合 ノッチ・アート遠野

会社情報

代表 鈴木 光宏
〒028-0502 岩手県遠野市青笹町中沢8-1-6
TEL 0198-62-1070 FAX 0198-62-1080
notchfk@tonotv.com



業務部長
佐々木 孝博

社名の“ノッチ・アート”は和室の欄間・障子などに使用される組子細工のこと。市内の建具店が協同組合を作り創業したノッチ・アート遠野は、多種多様な建造物の建具や棚といった造り付けの大きなものから、コースター、アクセサリーなどの小物まで、木にかかわるものならなんでもおまかせの職人集団です。若手スタッフが多く、釜石鶴住居復興スタジアムの座席やこども本の森遠野の書棚など、地域に親しまれる施設にも多数関わってきました。

大小30種類以上の木工機械に加えて、木材にカラー印刷を施すUV印刷機や高性能のレーザー加工機などを導入、幅広いニーズに対応するとともに、インテリアや小物の制作だけでなくデザインから手掛けます。また、もっと木材を身近に感じてもらうためDIYや小物づくりのワークショップなどにも力を入れています。

佐々木孝博業務部長は「用途に適した木材を見極め、安全で、お客様に喜んでいただける製品づくりに励んでいます」と語ります。



無垢材・集成材

無垢材とは、山林から伐り出した木を製材し乾燥させた状態や、そこから表面を滑らかに仕上げた状態など、自然の木そのものを指します。調湿作用に優れ、化学物質が使われていないのが特徴です。一方、板を重ね合わせ圧着した集成材は強度が安定していて様々な形状に加工できる特徴があります。このほか、丸太をかつら剥きし貼り合わせた合板も建築現場などで使われています。

大規模建築から木材防腐処理・外構工事まで

株式会社 リンデンバウム遠野

会社情報

代表 立花 功
〒028-0502 岩手県遠野市青笹町中沢8-1-11
TEL 0198-62-4163 FAX 0198-62-4164
info@lindenbaum-tono.jp



代表取締役社長
立花 功

1990年の創業当時からはやく環境問題に着目し「木の復権」を掲げてきたリンデンバウム遠野は、一級建築士3名が在籍する建設会社です。

遠野市産カラマツの集成材を加工した長さ20m超の梁が使われた東京大学弥生講堂、道の駅たのはた思惟の風など大規模プロジェクトに参画したほか、東日本大震災直後から沿岸部の被災地に入り、仮設住宅の建設や釜石鶴住居復興スタジアムのVIPルームなどの施工を担い、復興に尽力してきました。

また、直径9cm～20cm前後の丸棒製造が可能な加工機と防腐処理設備によって、全国各地の木製橋梁や柵、東屋、遊具、護岸工事など、幅広い分野で部材の供給を担い、施工まで手掛けることもあります。

一級建築士でもある立花功社長は「住宅はもちろんのこと、さまざまな空間に木材を活用することで、より一層、環境に貢献していきたい」と創業時の志を貫いています。



高い乾燥技術で内装材、羽柄材の品質に定評

豊田木材 株式会社

- 主な取扱樹種 スギ カラマツ アカマツ
- 人工乾燥機 あり なし
- JAS 認定 あり なし

会社情報

代表 角館 宏
〒027-0024 岩手県宮古市磯鶏1-5-28
TEL 0193-62-5127 FAX 0193-64-1175
toyotamokuzai@themis.ocn.ne.jp



代表取締役社長
角館 宏

品質の高さで設計事務所や工務店などから信頼の厚い豊田木材。岩手県産のスギ材をメインに製材し、人工乾燥した後に柱材や内装材、フローリングなどの製品として加工し出荷しています。

1959年にラワンの大径材の製材からスタートした同社は、東北地方ではいち早く人工乾燥機を導入。その知見をのちに県産材に応用し、丸太の質や板の厚さ、木材の用途によって最適な乾燥方法のデータを蓄積してきました。例えば、内装材の羽目板は含水率を10～12%まで低下させることで、その住宅での生活が始まってからも隙間が開いたりすることなく、快適な暮らしを守ります。

角館宏社長は「木を生かし、木の付加価値を高めることによって木が皆に愛され大事にされる。愛される製品を作ることが木に対して、山に対しての恩返しと心掛けています」。



人工乾燥

伐採直後の丸太は大量の水分を含んでおり、乾燥するとともに割れやねじれが生じてくるため、製材した板を乾燥機に入れ一定の時間を掛けて人工的に含水率を下げコントロールするのが人工乾燥です。構造材や造作材の場合は含水率を15～20%程度まで下げた状態に仕上げるのが一般的。自然の力を利用した天然乾燥と組み合わせる製材所もあります。人工乾燥した木材をKD材、乾燥していない木材をグリーン材と呼びます。

ニーズに応える幅広い品揃えと豊富な実績

有限会社 森谷材木店

- 主な取扱樹種 スギ カラマツ アカマツ
- 人工乾燥機 あり なし
- JAS 認定 あり なし

会社情報

代表 森谷 潤
〒029-2311 岩手県住田町世田米大崎52
TEL 0192-46-2120 FAX 0192-46-2459
j-moriya@sweet.ocn.ne.jp



代表取締役
森谷 潤

木材業界ではいち早くネットショップを導入し展示会にも参加するなど、消費者ニーズをくみ取った製品づくりに取り組む森谷材木店。林地地として知られる地元住田町を中心にスギ、カラマツ、アカマツを取り扱い、製材し人工乾燥機に掛けた後、多種多様な製品に加工しています。

6軸モルダー2機を有し、天井・壁面用の羽目板、フローリングなどの仕上げ材のほか、ガーデニング用の資材、ウッドデッキ用材の販売から施工まで、幅広いラインナップが特徴。準不燃処理や焼き杉、自然塗料など注文に応じた仕上げにも対応しています。

隣接する陸前高田市の道の駅高田松原、住田町庁舎など木造公共施設への供給実績が豊富で、FSC 森林認証のCOC 認証も取得しています。森谷潤社長は「建築現場での施工性が高く、不具合のない完成品を作ってきました。木材を使った空間で過ごすことで自然の息吹を感じてもらいたい」と木への思いを語ります



地域からの信頼第一に間伐を推進

釜石地方森林組合

会社情報

代表 久保 知久
〒026-0302 岩手県釜石市片岸町1-1-1
TEL 0193-28-4244 FAX 0193-28-2901
kamamori07@kamamorikumi.jp



代表理事組合長
久保 知久

釜石市と大槌町の民有林を管轄する釜石地方森林組合は、組合員である山林所有者と地域への貢献を掲げ、地域の陸と海の環境保全や土砂災害の予防のため、間伐を中心とした森林整備事業を進めています。

主に扱うのはスギとアカマツ。年間約20,000㎡の丸太を製材所や合板工場に納入しています。近年は、フローリング材として利用できる広葉樹の安定供給にも取り組んでいます。

環境問題への先進的な取り組みで知られ、行政と連携し2009年から管内の発電所に木質バイオマスを供給、その収益の一部は伐採跡地への植林費用に充てているほか、2021年には大槌町と連携し町有林のFSC 森林認証を取得しました。

東日本大震災後は若者の雇用と定着に力を入れ、高性能林業機械の導入や労働環境の改善を重ねています。久保知久代表理事組合長は「地域から信頼される組織であり続けるため、健全な森づくりを進めていくのが私たちの使命です」。



上閉伊地区木材流通協議会発足に尽力した高橋幸男参事（左）と久保組合長



羽目板・フローリング

羽目板は壁や天井に貼るための板で、両脇に刻まれている凹凸を合わせてつないでいくことで広い面積も効率的に仕上げることができます。フローリングは床材のことで、こちらも凹凸で連結するものが一般的です。どちらも材質はスギ、ヒノキ、カラマツなどの針葉樹をはじめ、ナラ、サクラなどの広葉樹までさまざまです。最近はDIYで手軽に設置できる方式の商品も流通しています。

施主

Interview

佐々木 雄治さん

インタビュー

Y u j i S a s a k i



無垢材をたくさん使っているので、暮らしていると木が呼吸するのを感じます。

東日本大震災の大きな被害を受け、集落全体が高台に移転し整備された根浜復興団地（釜石市鶴住居町）。その山際の角に建つのが佐々木雄治さんの自宅です。

2017年秋に完成した佐々木邸は、外観はごく普通の2階建て住宅ですが、玄関を一步入ると印象は一変。壁は全面、足元から天井まで無垢材で、まるで木材に囲まれているかのような空間です。

この住宅には釜石地方森林組合が地域の山林から伐り出したスギが通常の3倍ほど使われています。上閉伊地区木材流通協議会加盟社の上田製材所が乾燥・製材して10.5cmの角材など

に仕上げたものをリンデンバウム遠野が横方向に連結しパネルに仕立て、現場でクレーンなどを使って施工しました。

津波で被災した自宅を再建する際に「ログハウスのような家を作りたい」という希望を持っていた佐々木さん。若いころからバンド活動をしてきたため、仲間たちとライブを開ける広い空間を作りたいという思いや、一部の部屋は“民泊”としてゲストを迎えたいという構想もありました。

特注の住宅になるため、予算とイメージの両方を叶えられる業者が見つからず、相談に行ったのが釜石地方森林組合でした。そこで、組合事務所にも使われている10.5cmの角材を連結したパネル工法について詳しい説明を聞いた佐々木さんは岩手県産材利用の補助金なども利用しながら木材をふんだんに使った住宅を建てることに。

そして実現したのが、1階にライブハウスと自身や家族の居室、2階は民泊用の部屋と水回りを備えた木造2階建ての住宅でした。「無垢材をたくさん使っているので、暮らしていると木が呼吸するのを感じます」と佐々木さん。節が多いのも「天然の木らしくてあたたかみがある」とゲストにも好評です。また、真冬でも1階は床暖房とエアコン、2階はエアコンのみで生活できるほど暖かいのも魅力と言います。



自宅の近くでラグビー

ワールドカップが開催された年には、復興支援が縁でつながった外国人や全国の人たちを迎えるなど交流の拠点になっています。「普段着のもてなしをしたいと思っていた私にとっては、この木の家はぴったりでした。ゲストが傷をつけたり汚したりしても木だからこそそれが味になるのがうれしいです」。

加盟各社一覧

株式会社 上田製材所

〒028-1131 岩手県大槌町大槌 12-9-1
TEL 0193-42-2284
FAX 0193-42-2253
ueda.seizaisyo@leaf.ocn.ne.jp

協同組合 遠野グルーラム

〒028-0502 岩手県遠野市青笹町中沢 8-1-2
TEL 0198-62-7998
FAX 0198-60-1327
info@tohno-glulam.jp

有限会社 碓川製函

〒028-1101 岩手県大槌町吉里吉里 32-5 大畑
TEL 0193-44-2536
FAX 0193-44-2563
qquf7xx9k@bird.ocn.ne.jp

協同組合 ノッチ・アート遠野

〒028-0502 岩手県遠野市青笹町中沢 8-1-6
TEL 0198-62-1070
FAX 0198-62-1080
notchfk@tonotv.com

有限会社 外川製材所

〒026-0055 岩手県釜石市甲子町 15-88-4
TEL 0193-23-5378
FAX 0193-23-5379
sotokawa-seizai@alpha.ocn.ne.jp

株式会社 リンデンバウム遠野

〒028-0502 岩手県遠野市青笹町中沢 8-1-11
TEL 0198-62-4163
FAX 0198-62-4164
info@lindenbaum-ono.jp

有限会社 鈴木製材所

〒028-0532 岩手県遠野市綾織町下綾織 28-40
TEL 0198-62-6715
FAX 0198-62-6716
mitu@tonotv.com

豊田木材 株式会社

〒027-0024 岩手県宮古市磯鶏 1-5-28
TEL 0193-62-5127
FAX 0193-64-1175
toyotamokuzai@themis.ocn.ne.jp

協同組合 リッチヒル遠野

〒028-0502 岩手県遠野市青笹町中沢 5-11
TEL 0198-62-0071
FAX 0198-62-0073
rich_hill-ono@view.ocn.ne.jp

有限会社 森谷材木店

〒029-2311 岩手県住田町世田米大崎 52
TEL 0192-46-2120
FAX 0192-46-2459
j-moriya@sweet.ocn.ne.jp

合資会社 鱒沢製材所

〒028-0502 岩手県遠野市青笹町中沢 5-11
(協)リッチヒル遠野第2工場
TEL 0198-62-0074 FAX 0198-62-0075
masuzawa_sh@outlook.com

釜石地方森林組合

〒026-0302 岩手県釜石市片岸町 1-1-1
TEL 0193-28-4244
FAX 0193-28-2901
kamamori07@kamamorikumi.jp